

Q1 JICA日本語教育ボランティアに応募するための条件は何ですか。

JICA日本語教育ボランティアでは、ほぼすべての派遣先において「日本語教育に関する資格保持」を条件としています。ここでの資格とは、「420時間程度の日本語教師養成講座」「大学または大学院の日本語教育専攻・副専攻」「日本語教育能力検定試験」で扱う内容に相当します。派遣先によっては、その他の条件が加わることがあります。

Q2 日本語教育についてまったく知識がないのですが、応募できますか。

応募は可能ですが、A1で述べたとおり「日本語教育に関する資格保持」を条件の一つとしていますので、日本語教育に関する知識・技能を得てからのご応募をお勧めします。

Q3 日本語教師として働いたことがないのですが、実務経験は絶対必要ですか。

実務経験がなくても応募は可能です。派遣先が実務経験を条件としていないこともあります。しかし、JICA日本語教育ボランティアは即戦力として学校などで日本語の授業を行うことが求められる派遣先がほとんどですので、クラス形式での授業を経験しておくことをお勧めします。派遣先で求められる経験年数については、WEBサイト「JICAボランティア 要請情報検索」でご確認ください。

Q4 どこで日本語教師としての経験を積むことができますか。

日本語学校等で日本語教師として働くほかに、自治体の国際交流協会等が実施している日本語教室で日本語を教えるボランティアを募集していることもありますので、そちらで経験を積むのも方法の一つです。

Q5 派遣先ではボランティア一人で日本語を教えるのですか。

現地の同僚教師がいる場合もありますし、一人で教える場合もあります。配属先によって異なりますので、詳細はWEBサイト「JICAボランティア 要請情報検索」をご覧ください。

Q6 現在何名のJICA日本語教育ボランティアが派遣されていますか。

WEBサイト「JICAナレッジサイト」の日本語教育分野で、年2回(4月/10月)日本語教育ボランティアの累計及び派遣中人数を公開しております。

Q7 JICA日本語教育ボランティアが現地でどんな活動をしているのか知りたいのですが。

WEBサイト「JICA世界HOTアングル」及びFacebookページ「JICA日本語教育ボランティア」で派遣中ボランティアの活動の様子がご覧いただけます。

A1

A2

A3

A4

A5

A6

A7